



U S H I K I N

ウシキン®で 牛を元気に!!

牛の健康のために
わたしたちが
できること



ウシキン® 宣伝部長
キンちゃん

ウシキン®は発熱、下痢、肝機能障害などの病気も半減させることができ、肉質にも影響を与えることなく脂肪壊死症を予防可能と報告されています。

(兵庫県立農林水産技術総合センター試験)

脂肪壊死塊の発生率に対する ウシキンの効果

項 目	対 照	ウシキン
発生率 (%)	90	30*
脂肪壊死塊保有数 (1頭当たり)	3.7	0.7*

*ウシキンの効果あり (対照区との間に有意差あり (P<0.05))

脂肪壊死症が発症しやすい血統の黒毛和種去勢牛20頭を用い、ウシキン区(10頭、毎日50g投与)と対照区(10頭、無投与)に分け、20か月間肥育しました。

その結果、脂肪壊死塊の発生率は対照区よりもウシキン区で少なくなり、壊死塊の数と大きさもウシキン区で非常に小さくなったことから、ウシキン®で脂肪壊死症を予防できることが分かりました。



[1日量]
成牛 50~100g
子牛 30~50g

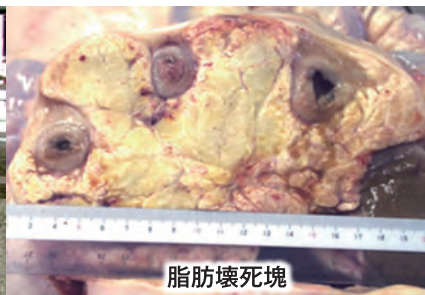
和牛生産農家の大敵 「脂肪壊死症」

脂肪壊死症は過度に蓄積された脂肪が壊死を起こし、腸管や泌尿器を圧迫する病気であり、和牛の廃用原因の上位を占めます。

高級牛肉を生産する黒毛和牛に多く見られるこの病気は、特効薬がなく発症した牛は廃用されてしまうことがほとんどです。



脂肪壊死症で痩せた肥育牛



脂肪壊死塊



なぜ牛は壁土を舐める?



牛は本来、田畑の草と同時に土も食べていました。牛小屋で土壁を牛が舐める姿を見て「牛は、体調管理のために土を自ら食べるのではないか」という発想からウシキン®は開発されました。

ウシキン®は淡路島の名産、淡路瓦の原料となるきめ細かい黄土粘土です。

お気軽にお問い合わせください

ゆう か

【販売元】株式会社 祐佳クレイ

〒656-0154 兵庫県南あわじ市倭文神道5
TEL 0799-53-5007 FAX 0799-46-0528
URL <http://yuka-clay.co.jp>

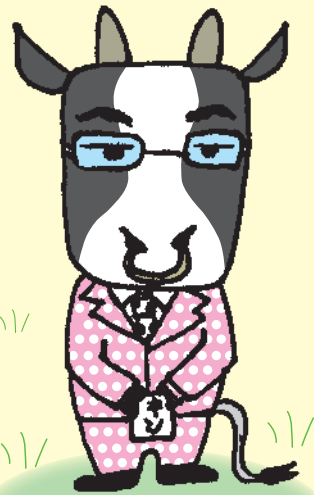




人と牛がますます輝きますように!!



ウシキン®

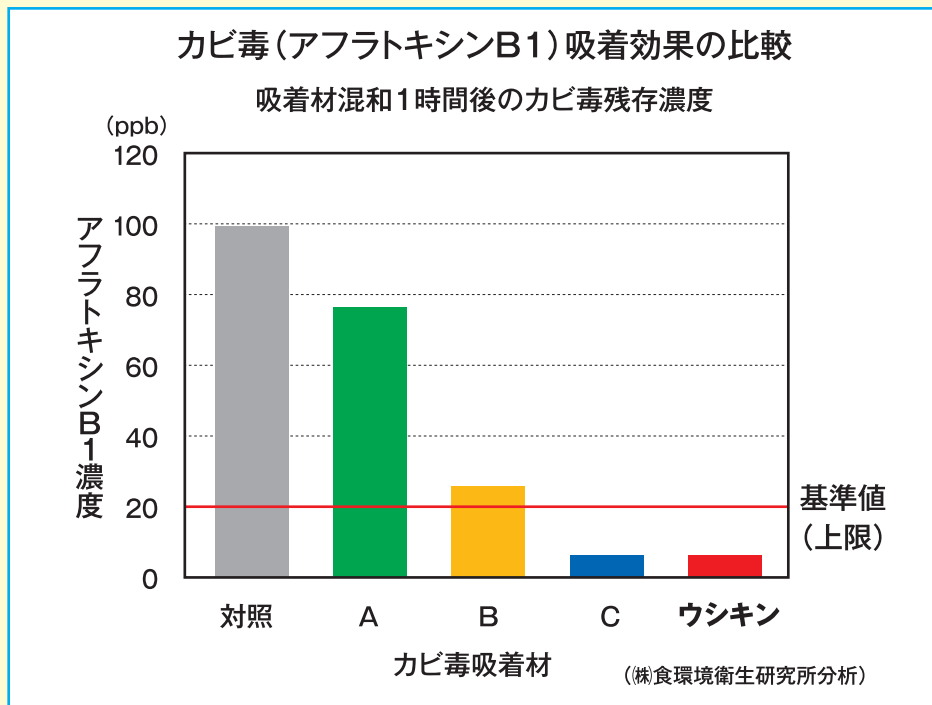


ウシキン® 広報部長
ギンちゃん

ウシキン® はカビ毒を吸着します!

稲わらやサイレージなどの飼料はカビ毒に汚染されていることが多いと報告されています。牛がカビ毒に汚染された飼料を摂取した場合、肝臓や消化管の障害、免疫抑制による感染症、繁殖障害などが発生します。

ウシキンのカビ毒吸着性を3種類のカビ毒吸着材と比較したところ、**ウシキンは、カビ毒を効率的に吸着しました。**



カビ毒吸着材の主な成分と投与量

吸着材	主な成分	推奨1日投与量	添加濃度
A	ビール酵母・酵母細胞壁・ゼオライト(HSCAS)	10-20g	0.2%
B	グルカン(酵母細胞壁)	15-20g	0.2%
C	ゼオライト(HSCAS)	育成25-50g 成牛50-100g	0.5%
ウシキン	黄土粘土	50g	0.5%

HSCAS:アルミノケイ酸ナトリウムカルシウム塩

- ・カビ毒としてアフラトキシンB1を用い100ppb (μg/kg)の溶液を調整し、吸着材を添加・攪拌し、1時間後の溶液中アフラトキシン濃度を分析しました。
- ・吸着材の添加量は牛への推奨投与量を目安にし(表)、対照区には吸着材を添加していません。



ネコのゆらと前川社長

牛が健康になったと多くの皆様に喜ばれています。まずはお気軽にお問い合わせください。

ゆうか
株式会社 祐佳クレイ

〒656-0154 兵庫県南あわじ市倭文神道5
TEL 0799-53-5007 FAX 0799-46-0528
URL <http://yuka-clay.co.jp>



ウシキン[®]で牛を元気に!!

ウシキン[®]はエンドトキシンを吸着します!

ウシキン[®]は淡路島のきめ細かい粘土で、牛に毎日与えることで病気が少なくなり、特に脂肪壊死症を予防できることが報告されています。

エンドトキシンは多くの病気を誘発!!

濃厚飼料多給や飼料の急変

ルーメンアシドーシス・異常発酵

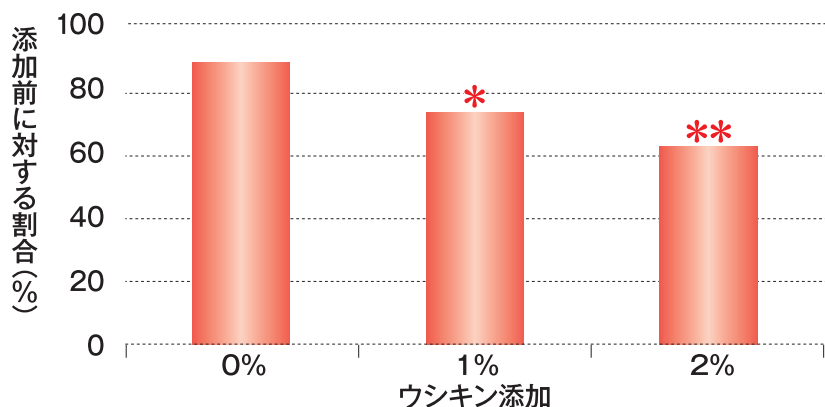
第一胃内の多くの微生物が死滅し、グラム陰性桿菌の死骸からエンドトキシン(内毒素)が産生

エンドトキシンが吸収される

強力な炎症反応を起こして多くの臓器を障害

ウシキン[®]を第一胃液に入れてエンドトキシンの濃度を測定したところ、ウシキン[®]がエンドトキシンを吸着することが分かりました。

ウシキン添加後の第一胃液中のエンドトキシン減少割合



全国7農場の牛、各3頭の第一胃液を均等に混和した7検体を用いウシキン1%と2%添加して2時間攪拌した結果、ウシキン[®]を添加することで第一胃液中のエンドトキシンが減少しました。(各区の値は7検体の平均値)

試験開始時のエンドトキシン濃度:平均値14,076 EU/mL (3,244~27,458 EU/mL)

*: 0%区に対して有意差あり(P<0.05) ** : 0%区に対して有意差あり(P<0.01)



ウシキン[®] 宣伝部長
キンちゃん



[1日量]
成牛 50~100g
子牛 30~50g

ウシキン[®]はカビ毒
(アフラトキシン)も
吸着します



お気軽にお問い合わせください

ゆう か

【販売元】株式会社 祐佳クレイ

〒656-0154 兵庫県南あわじ市倭文神道5
TEL 0799-53-5007 FAX 0799-46-0528
URL <http://yuka-clay.co.jp>



牛の健康のためにわたしたちができること



U S H I K I N

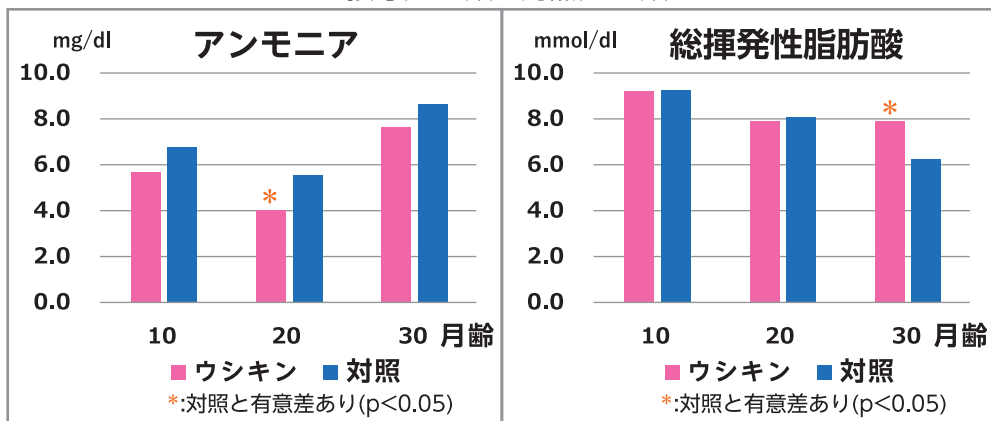
ウシキン®で 牛を元気に!!



【1日量】
成牛 50~100g
子牛 30~50g

ウシキンの第一胃性状への影響

黒毛和種去勢肥育牛にウシキン(50g/日)を投与
投与区10頭 対照区10頭



ウシキン投与で肥育中期のアンモニアが低下し、
後期の総揮発性脂肪酸が増加します！



大豆粕などをたくさん与えると、第一胃でアンモニアがたくさん作られて肝臓障害や尿石症が増えることとなります。

黒毛和種去勢牛20頭を用い、ウシキン区(10頭、毎日50g投与)と対照区(10頭、無投与)に分け、20か月間肥育したところ、ウシキン区では、**肥育中期のアンモニア濃度が低下し、肝臓障害や尿石症が少なくなった可能性があります。**

飼料が効率的に第一胃で分解されると総揮発性脂肪酸が増えます。

ウシキンを与えると、**肥育後期の第一胃の総揮発性脂肪酸が多くなっています。これにより体重の増加が期待できます。**

ウシキンの疾病発生率に対する影響

項目	対照	ウシキン
頭数	10	10
延べ治療回数		
発熱	24	6
下痢	27	18
第一胃機能障害	4	0
肝機能障害	20	7
尿石症	23	12
合計	98	43

ウシキン投与により治療回数が半減しました。

健やかな毎日のお手伝いができますように
努力してまいります。



お気軽にお問い合わせください

ゆう か

【販売元】株式会社 祐佳クレイ

〒656-0154 兵庫県南あわじ市倭文神道5
TEL 0799-53-5007 FAX 0799-46-0528
URL <http://yuka-clay.co.jp>

